

平成27年度病害虫発生予報第11号(2月予報)

<今月のコラム> ・早期ロータリーによるケブカアカチャコガネの防除について

・ニンガチ・カジマーイ(二月風廻り)

<お知らせ> イネヨトウの性フェロモントラップにおける誘殺数の推移について以下URLに掲載しています。
<http://www.pref.okinawa.jp/site/norin/byogaichubojjo/documents/ineyo-phero.html>

今月のトピックス

白さび病 (チンゲンサイ)

学名 : *Albugo macrospora*



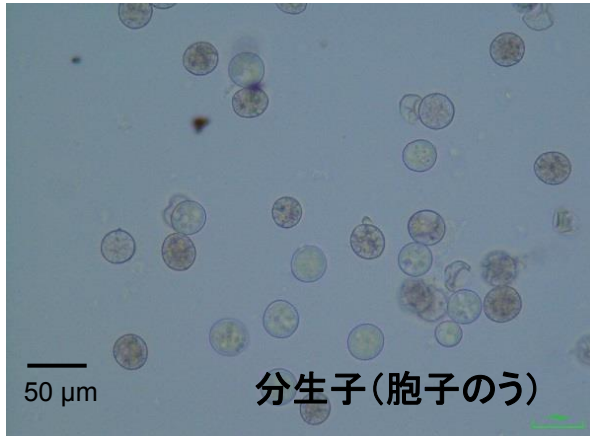
葉裏の症状



葉表の症状



病斑の拡大



分生子(胞子のう)

生態と被害

葉裏に乳白色のやや盛り上がった不整形の病斑が形成され、葉表は病斑部が淡緑色から淡黄色になる。葉裏の病斑は後にその部分が破れて分生子(胞子のう)が露出する。分生子は飛散し空気伝染によりまん延する。残さに卵胞子の状態で生存し、翌年の一次伝染源となる。暖地では11月上旬から3月下旬にかけて発生し、降雨が連続すると多発する。チンゲンサイの他コマツナ、カラシナ、ダイコン、ハクサイ等のアブラナ科植物に寄生する。

防除対策として、密播、密植を避ける、排水を良好にする、畝上にマルチを張る、被害残さは早期に取り除く等がある。

<http://www.pref.okinawa.jp/site/norin/byogaichubojjo/index.html>

平成28年1月29日

沖縄県病害虫防除技術センター